

一般社団法人そらの郷

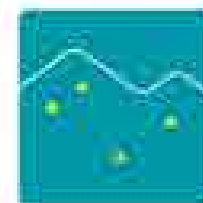
DMO：観光地域づくり法人

Destination
Management/
Marketing
Organization

地域の稼ぐ力を引き出す、観光における地域の舵取り役

経 緯

- 2007：そらの郷山里物語協議会設立
- 2008：観光圏認定
- 2011：一般社団法人そらの郷設立
- 2017：日本版DMO登録
- 2019：組織体制の強化（2事業部）
- 2020：重点支援DMO選定



にし阿波
剣山・吉野川観光圏

「住んでよし・訪れてよし」の観光地域づくり

にし阿波～剣山・吉野川観光圏の地域ブランディングと経済再生

住んでよし・訪れてよし

「住んでよし」は町づくり、地域資源の価値向上、地域の自信・誇りの再生⇒**住民満足度向上**

「訪れてよし」は観光振興、交流人口拡大、域内消費額の拡大⇒**所得・雇用・税収の確保**

千年のかくれんぼ

～分け入るごとに、時は遡り～

そびえ立つ山々が悠久の時を閉じこめたのか。
変わらぬ営みと人のぬくもりが息づく、
“にし阿波” 無垢の里

官民連携の地域づくり

徳島県、2市2町、大歩危祖谷いってみる会、観光協会、商工会、観光地域づくりマネージャーなどが連携して観光地域づくりに取り組んでいる。

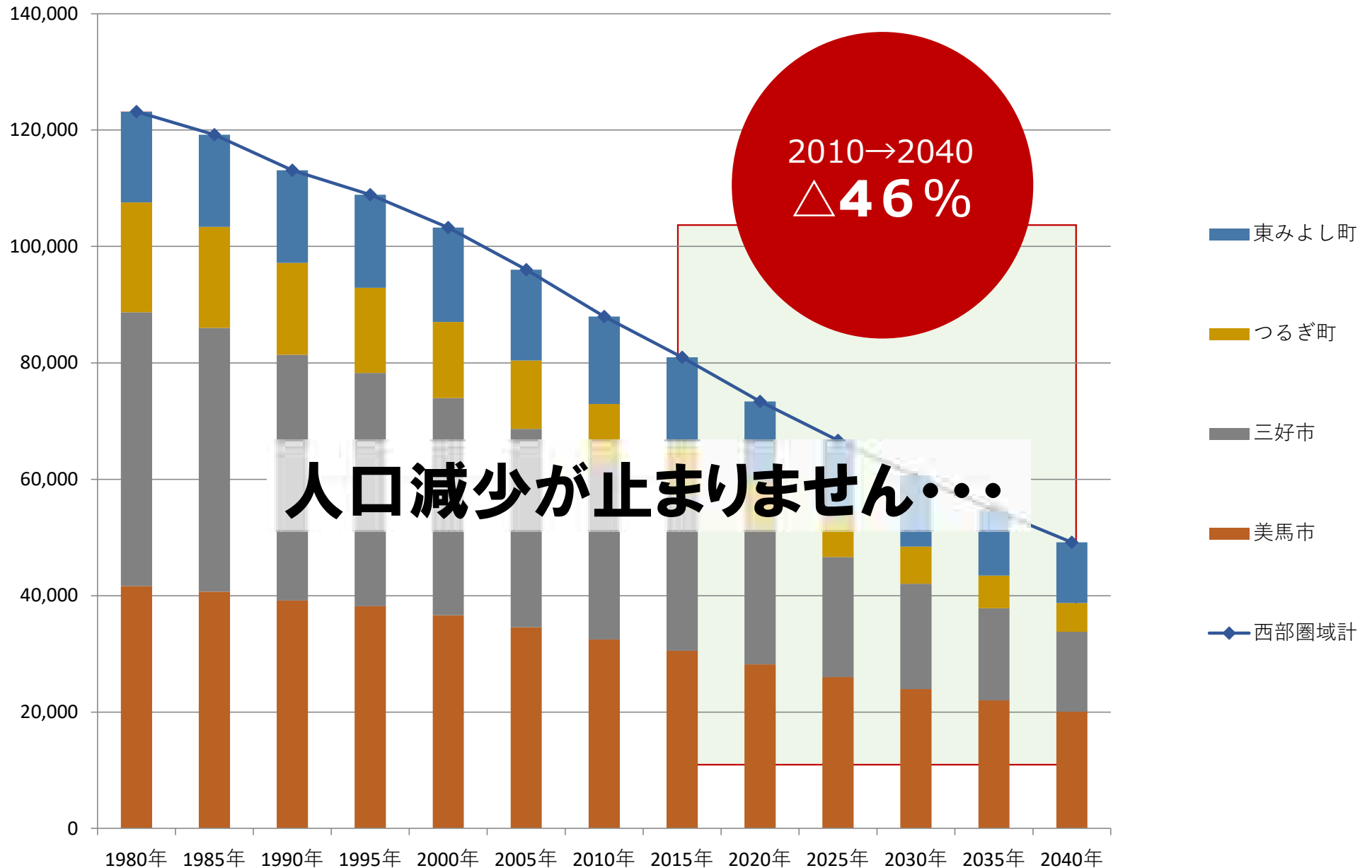


四国、大歩危・祖谷



課題：人口減少問題

にし阿波の人口推移（1980年～2015年） → 将来推計人口（2010年～2040年）



（2010～2040年）データについては、国立社会保障・人口問題研究所の『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』を使用
（1980～2010年）年齢階級別人口の数字は、国勢調査のデータを市町村合併を考慮して独自に集計したものです。境界変更については考慮していません

地域支援型産業としての観光

～“交流”をコンテンツとした価値の創造～



関係人口拡大で持続可能な観光地域づくり

活用する地域資源

■傾斜地集落



■世界農業遺産／農業文化



■地域住民



資源循環型の暮らしへの共感

山の集落で住民と出逢い、ライフスタイルに共感する。



レジャーではなく**交流**がコンテンツ

暮らしの体験と、地域住民との交流が価値を作り出す。



取組事例①：インバウンドツアーの受入れ

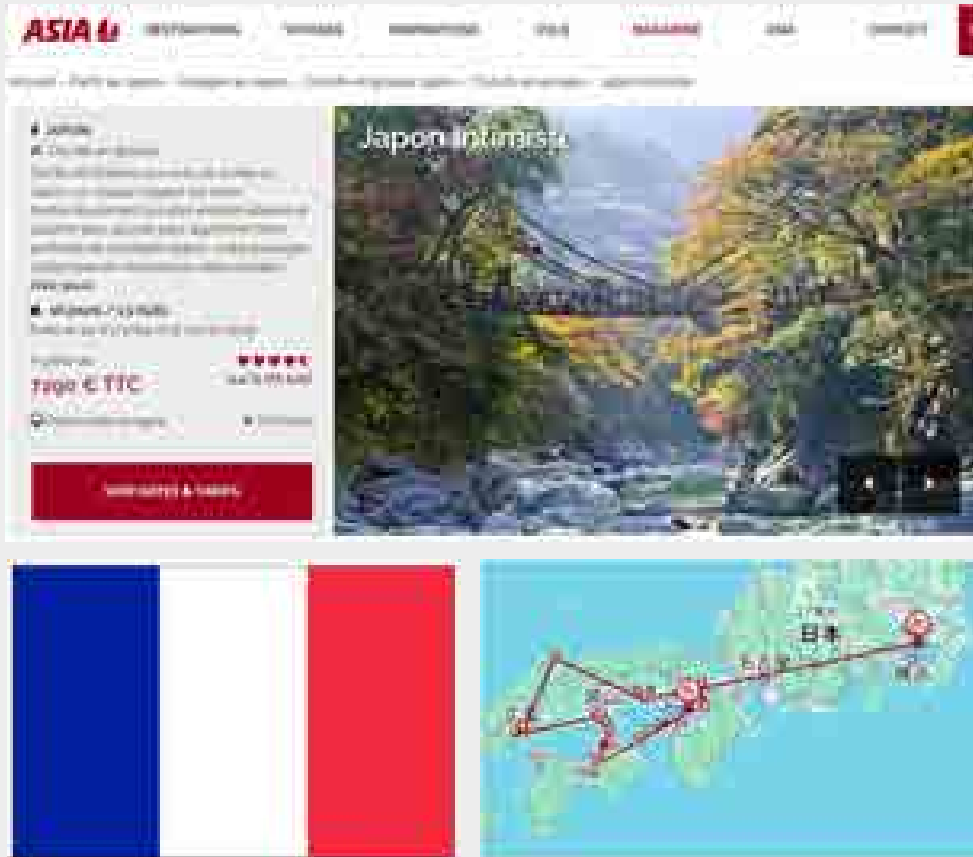


欧米はじめ、全世界からのお客様



インバウンドツアーの受入状況

ASIA JAPON INTIMISTE Voyage2024 JAPON INTIMISTE KANAZAWA Voyage2024



2024計画

ASIA JAPON INTIMISTE 2024
JAPON INTIMISTE KANAZAWA 2024

15国300名
10国200名

National Geographic Expeditions INSIDE JAPAN Tours2024



2024計画

NATIONAL GEOGRAPHIC EXPEDITION
INSIDE JAPAN Tours2024

9国225名

にし阿波で訪日ツアー客が体験すること “農家の庭先”で山の暮らしを体感



“農家の庭先”でティータイム (祖谷番茶のロースト体験)



“農家レストラン”で民謡を楽しむ (祖谷の粉引き唄)



これを求めていた、と彼らは言う・・・

